

廃棄うどん有効活用を

循環プロジェクトが総会

高松

廃棄されるうどんからバイオエタノールを製造し、うどん店で燃料として使うプロジェクトに取り組み「うどんまるごと循環コンソーシアム」の総会が1日

高松市西宝町の旧市環境プラザであり、エコツアの実施などで活動の輪を広げていこうと申し合わせた。同コンソーシアムは昨秋、環境NPOや学識経験

ルを作るプラントの見学や、うどんの手打ち体験後、エタノールを燃料にして湯がいたうどんを食べる「うどんまるごとエコツアー」を23日に行うことを決めた。このほか、11、15日に高松市役所で開かれる環境展で、パネルなどで取り組みを紹介することも決定した。

者、製麺業者らで結成。うどん店で出る麺の切りくずや、ゆでて一定の時間が経過した麺など廃棄されるうどんの有効活用策を模索してきた。

総会では、廃棄うどんの回収や麺の処理作業、PRの方法などについて協議。その結果、県内の産業機械メーカーが開発した廃棄うどんを発酵させてエタノール

類型	24年 6月 2日	資料No.	
掲載紙	朝日 日経 (四国) 徳島 愛媛 高知	その他()	